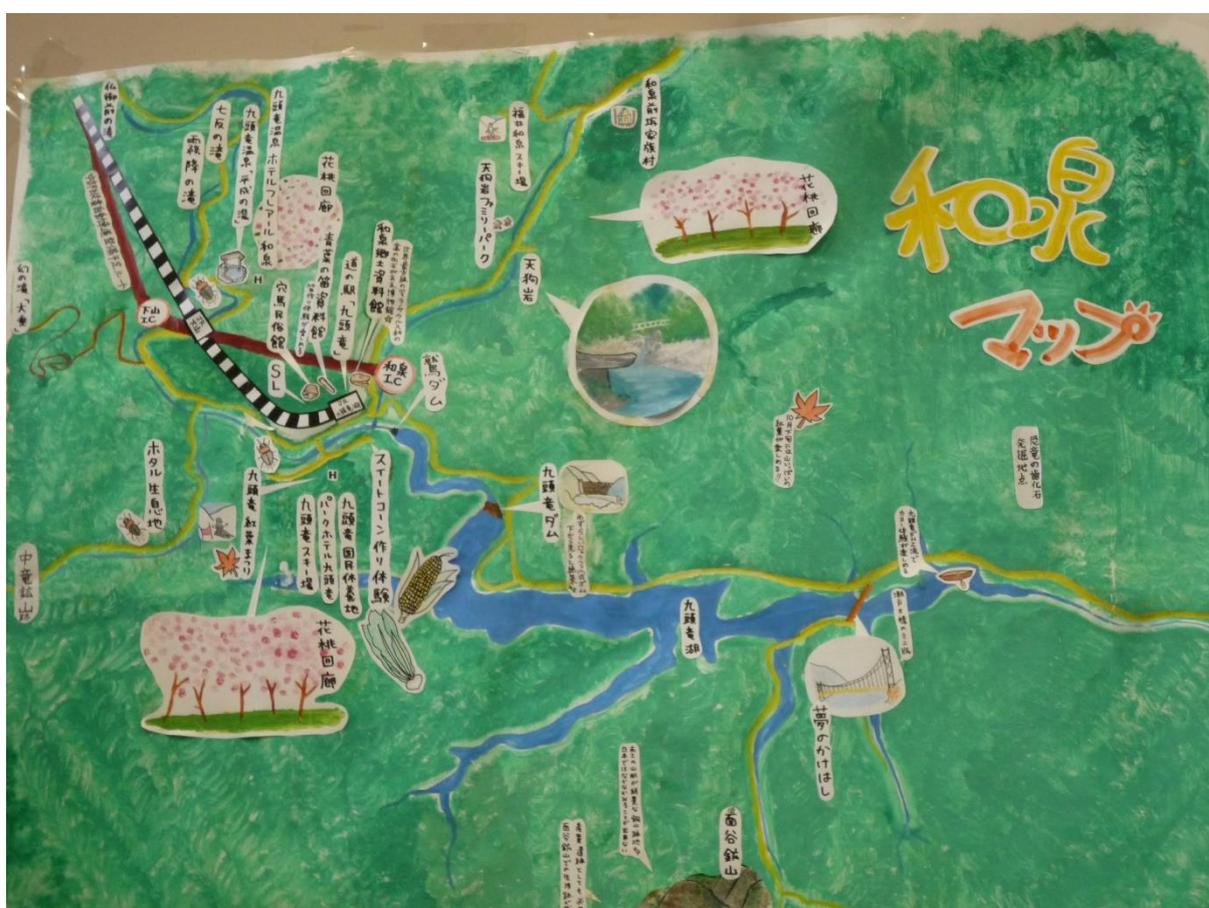


和泉地区地域づくり計画



子ども達が作った和泉マップ（ふれあい会館）

平成26年4月

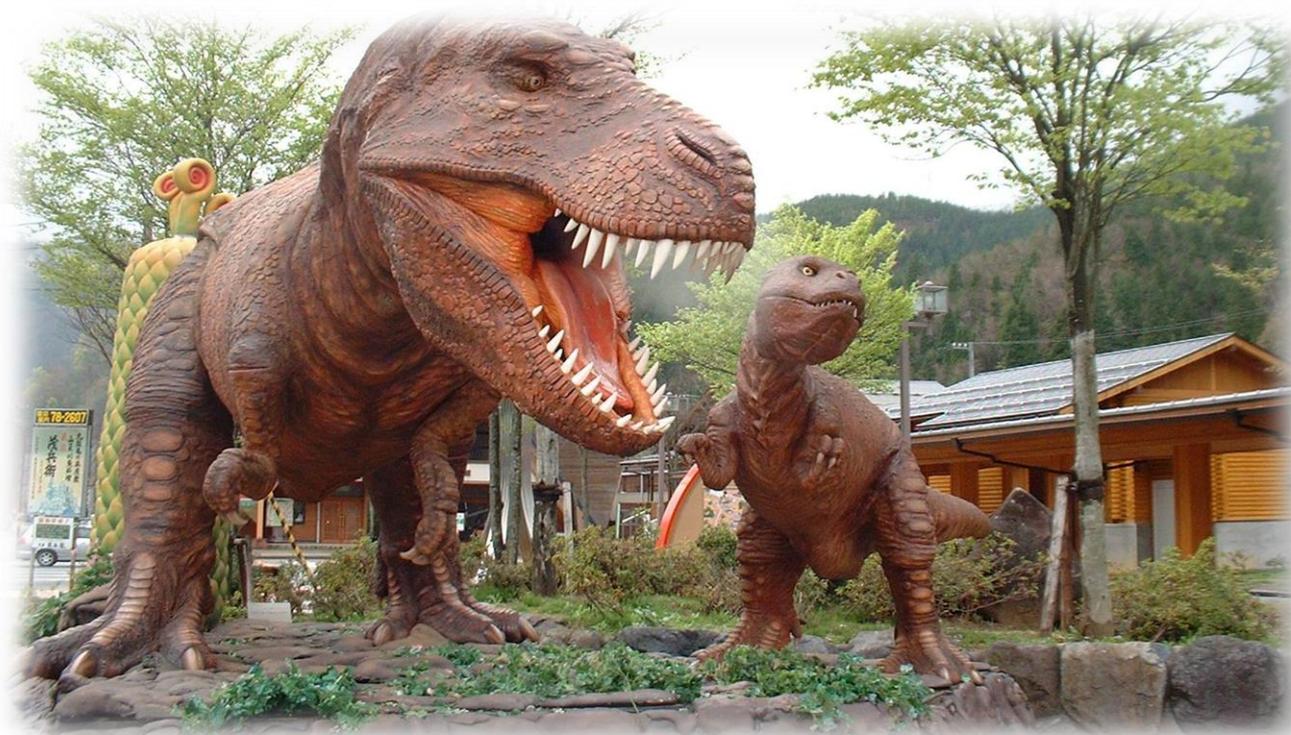
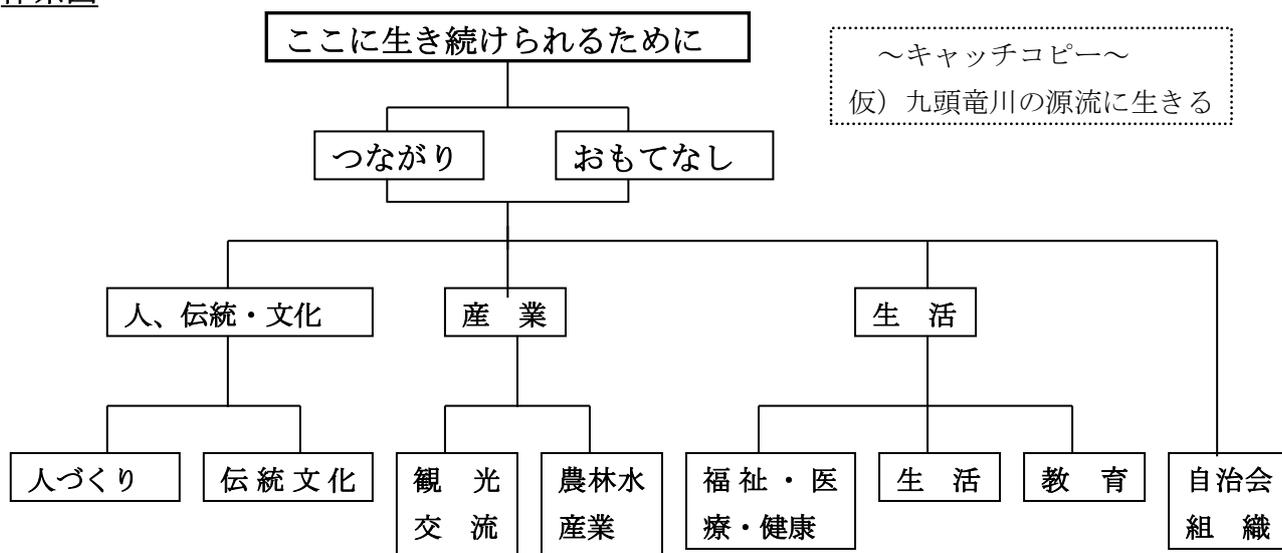
和泉自治会

「ここに生き続けられるために」

基本目標

- 1、つながり
- 2、おもてなし

体系図



1、現 状

和泉地区（旧和泉村）は、福井県の東端に位置し岐阜県に境を接し、面積 332 平方キロメートルの約 9 割が山林であり、四囲山岳を形成し、その中央を岐阜県境に源を発する九頭竜川が東西に貫流しています。また九頭竜川をせきとめた九頭流ダムを初め、大小複数の人造湖を形成しています。

人口は昭和 40 年に 5,723 人でありましたが、昭和 43 年の九頭竜ダム完成や昭和 62 年の日本亜鉛鋳業中竜鋳山の採掘中止などが影響し平成 2 年には 846 人にまで激減しました。

このような中、旧和泉村では、地域の特性を十分に生かしたむらづくりの理念のもと観光と農林水産等地域産業の連携による内発的地域振興を目指してきました。

現在は、平成 17 年 11 月に大野市と合併し、約 10 年が経過しています。

2、課 題

人口は、合併時 729 人から現在 492 人（H29.4.1）にまで減少しています。大野市街地から約 30 キロメートルの距離があり、行政サービス低下への懸念や人口減少、若者の流出、高齢化が進み、限界集落も複数存在します。そのため荒廃した土地の増加、特産品の生産量の減少、後継者問題など地域力・マンパワー不足による地域の衰退、さらに経済情勢の悪化などによる観光客の減少など、当地区の将来への不安が増大しています。

3、策定までの経過

当自治会では地区の課題を踏まえて、地区全体で将来について考え、行動を起こしていくことが大切であると考えました。そこで、まずは地区民が将来のこと、困っていること、地区の良いところ・悪いところなど自由に意見交換をする場として「和泉で語ろう会」を平成 24 年 7 月 31 日より開始しました。また、会の運営を担当する企画会議や定例の自治会総会、役員会に加え、臨時総会等を随時開催し、計画案策定に向けて進めてきました。計画案策定後は、集落説明会を 7 か所で開催し、周知を図り賛同をいただきました。

- ・和泉で語ろう会・・・9 回開催 第 1 回 平成 24 年 7 月 31 日～第 9 回 平成 25 年 9 月 24 日
- ・企画会議・・・・・・12 回開催 第 1 回 平成 25 年 2 月 19 日～第 12 回 平成 26 年 1 月 20 日
- ・自治会総会（臨時総会含む）、役員会・・・・・・平成 24 年度総会 1 回、役員会 4 回
平成 25 年度総会 3 回、役員会 3 回
- ・集落説明会・・・・・・7 か所 平成 25 年 12 月 8 日～平成 26 年 1 月 25 日

4、目 的

市が定めた第5次大野市総合計画を基に、地域資源を生かして、結の精神によって自立した地域を目指します。いつまでもこの地を愛し、誇りを持って住み続けられるようこの計画を定めます。

和泉地区は中京方面からの玄関口として、大野市さらには福井県にとっても最重要な地域であり、近い将来の中部縦貫自動車道の開通に伴うインターチェンジの完成などにより交通の拠点となります。

その際、和泉地区が単なる通過ポイントとして埋没することなく、中京方面などから福井県を訪れた方が最初にインターチェンジを降りて立ち寄っていただける「観光・交流拠点」を創造することが重要だと考えています。

その拠点づくりのために当地区は人づくりを基本とし、観光を中心とした活動を進めます。そうすることで地区内外の交流が生まれ、地区住民の自発的な意欲・行動が促されます。

また、拠点の中心となる「道の駅九頭竜」周辺に、地区住民の日々の生活の拠りどころである施設（支所・公民館・福祉センター）を集約させることで、生活の利便性や生涯学習の推進、福祉の増進が図られ、さらに地域力・市民力が向上するものと考えます。

5、目 標

「観光・交流拠点」は和泉地区の豊かな自然に育まれた四季折々の景観と歴史・文化など風土にあった心満たされる場所であり、癒しや休息、おもてなしの優しい心が表現された場所であればなりません。

地区内外の人と人、心と心とのつながり・絆を大切にし、人づくり・地域づくりを進めます。そして産業と歴史・伝説・文化などを組み合わせてストーリー化をし、地域資源をつなげ生かします。

また、私たち自身はこの地に多くの人を訪れることで喜びを感じ、自分自身の魅力を生み、地元を愛する心をさらに育てていきます。その結集こそが地区に活力を生み、雇用や安全で安心した生活にもつながっていきます。

行きたくなる、立ち寄りたくなる、住みたくなる、そんなエリアの創造を目指します。

資料1 人口の推移

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
人口	633	600	600	578	559	542	536	521	505	483
老年人口	222	215	211	207	194	198	207	206	209	218
老年人口割合	35.07	35.83	35.17	35.81	34.7	36.53	38.62	39.54	41.39	45.13
生産年齢人口	342	324	329	317	318	299	288	278	261	235
生産年齢人口割合	54.03	54	54.83	54.84	56.89	55.17	53.73	53.36	51.68	48.65
年少人口	69	61	60	54	47	45	41	37	35	30
年少人口割合	10.9	10.17	10	9.34	8.41	8.3	7.65	7.10	6.93	6.21
※大野市全体人口	38,535	38,061	37,594	36,972	36,392	35,987				

※ 市資料より。各4月1日現在。外国人含む。割合は%

※ H12、H17の全体人口は旧大野市、旧和泉村の合計

資料2 観光客の入り込み状況

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
九頭竜湖周辺	282,000	271,900	287,900	243,700	277,200	280,500	284,400	301,300	337,800
九頭竜国民休養地	18,900	11,800	16,000	16,500	18,800	21,000	21,400	15,900	16,300
九頭竜スキー場	11,000	6,800	9,900	10,700	11,300	15,400	15,000	14,000	7,600
九頭竜保養の里	85,000	86,000	70,000	57,900	61,200	61,700	62,600	63,800	63,500
福井和泉スキー場	16,900	20,300	19,400	21,500	24,800	27,900	27,600	25,400	13,800
アドベンチャーランド中竜	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和泉前阪家族旅行村	1,800	2,100	2,500	3,000	2,700	4,000	4,500	5,700	5,400
天狗岩ファミリーパーク	900	800	600	600	600	600	600	-	-
道の駅九頭竜	164,800	180,300	201,100	195,900	192,200	194,600	182,600	220,200	215,200
イベント	89,500	63,000	75,000	84,800	84,300	65,500	115,000	89,500	87,500
合計	670,800	643,000	682,400	634,600	673,100	671,200	713,700	735,800	747,100

※単位：人。アドベンチャーランド中竜は H18 末に閉鎖

資料3 特産物の生産状況

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
穴馬スイートコーン	40,556	26,112	29,975	21,420	30,824	33,253	32,698	29,370	36,853
穴馬かぶら	5,009	3,779	2,957	5,514	3,854	3,100	5,526	3,133	4,439
昇竜まい茸	78.0	88.4	100.4	93.4	92.6	93.5	92.19	95.58	110.83

※単位：スイートコーンは本、かぶらは Kg、まい茸はトン。

資料4 地域資源

【施設や跡地】

学校、保育所	ダム湖(まるでカナダや北欧のようなダムの風景・朝もや)	面谷鉱山跡	俵谷
和泉支所、公民館、消防署	夢のかけ橋	旧中竜鉱山	七坂
和泉診療所	夫婦杉	義平館跡地	九頭竜川の源流
総合福祉センター(地域福祉センター、わくわく館)	蛇鏡	伊月の湧水	荷暮のきれいな川
歴史の里(郷土資料館、笛資料館・穴馬民俗館)	白馬洞	明智光秀の仮住まい	谷合
国民休養地	越戸の池	白竜神社	レクリエーション森林
福井和泉スキー場	仙翁谷	伊勢分校跡地	国有林
九頭竜スキー場	蝶の水	伊勢神社跡地	星空
九頭竜保養の里	荒島岳(下山コース)	伊勢神宮の元	大雪
道の駅九頭竜	荒島谷川の岩壁、残雪	古道(美濃街道)	ハチノスサンゴの壁
下半原ふれあい湖畔	大垂の滝	穴馬総社	トロッコ列車、機関車
和泉前坂家族旅行村	七反滝の九頭竜峽	川合道場	
天狗岩ファミリーパーク	的場	大原道場(光明本尊)	
九頭竜ダム(鷲鞍岳の稜線から見える九頭竜ダム)	伊勢峠	久沢分校の跡	

【伝統・文化】

青葉の笛	炭焼き	アジメ	九頭竜民話
昇竜太鼓	穴馬和紙	九頭竜新緑・紅葉まつり	化石
穴馬おどり	岩魚	神社の祭り	カヌー

【植物】

かたくりの花	万本ざくら	シラカンバ林(徳平林道)	水芭蕉(林谷)
蛍(大納,前坂家族旅行村)	ツチノコ(上大納)	ブナ林(平家平)	秋の光る落葉松(下半原)
花桃	片葉の笹(半原)	しゃくなげ群生	

【食】

木の实	鍊寿司	ジビエ料理	穴馬かぶら漬け
岩魚	鱒寿司	冬の保存食	穴馬スイートコーン
アジメドジョウ	かつちんこうぼう	まる鯖焼き	報恩講料理
栃餅	まい茸ごはん(おこわ)	なれ寿司	ひき汁
草もち	九頭竜まい茸		

ここに生き続けられるために



ここに人が来る→にぎやかになる→豊かになる→雇用が生まれる

・ 自分たちの喜び ・ 人としての魅力 ・ 地元を愛する
につながる

背景は魅力ある自然

自治会 全体としての活動計画

組織強化

- ・ 地域づくりのための組織を強化する
- ・ 自治会には各区長会が含まれ、一体となった取り組みが可能です。

一体となった地域づくりを進めましょう。本計画で定めた内容を実現します。

- ・ 自治組織である「自治会」の基盤強化方法を検討します。例えば行政等の委託事業の創造・受注にあわせて別組織として法人化を検討します。
- ・ 地区内の公共施設について、今後の方向性を話し合い、市に提案ができることがないか検討します。